

芦屋市立精道小学校が 給食甲子園で優秀賞

学校給食の献立を競うコンテスト「全国学校給食甲子園」で、芦屋市立精道小学校が優秀賞を受賞した。12回目となる今年度は全国から2025献立の応募があり、4次にも及ぶ書類審査で選ばれた12献立が決勝に進出。決勝大会では栄養教諭と調理員が実際に調理し、審査員が調理過程と食味を審査した。

同校では日頃から、県内の食材を給食に使用し「県産県消」に取り組んでおり、



同校の栄養教諭・奥瑞恵先生(左)と調理員・浦口 正義さん。



決勝で提供した献立。もち麦入りご飯+レモン入りふりかけ、根菜ゴロゴロオムレツ+淡路のトマトソース、もち麦麺のイタリアンソース、レタスのスープ。前日には給食のメニューとして子どもたちに食べてもらい、「絶対優勝できる!」と応援された。

同コンテストでは福崎町産のもち麦や淡路島のレモン、小野市の卵や神戸市北区のレタスなど、兵庫県全域で採れる食材を余すところなく使った自慢のメニューで勝負。メニュー開発や調理方法の検討においては、地元レストランのシェフからのアドバイスも受けて決勝に臨んだ。栄養教諭の奥瑞恵先生は「優勝は逃したが、手づくり給食へのこだわりは負けていなかったと思う。他の受賞者から学んだことも多く、今後も給食の質をさらに上げたい」と話す。

阪神沿線で 自転車シェアリングサービスを開始

株式会社阪神ステーションネットは、阪神西宮駅と甲子園駅で運営する駐輪場で、自転車のシェアリングサービスを昨年12月に始めた。同社が管理する電動アシスト付き自転車を利用でき、同サービスのステーションであれば、どこでも乗り捨て可能という。会員登録や予約、決済などはウェブサイトやアプリで行う。1月下旬には阪神尼崎駅と尼崎センタープール前駅にもステーションを開設した。料金は15分あたり60円、24時間千円が上限で、当面は15分あたり30円の特別価格で提供する。

自転車にはGPS機能が搭載された鍵「スマートロック」を付けており、自転車の



阪神西宮駅東の駐輪場。同駅西と甲子園駅ともに、シェアリングサービスの自転車は3~4台ずつ設置している。

走行データが取得でき、ステーションの新規開設場所の検討に生かすことで、阪神沿線がより便利な街となるよう取り組む。担当者は「今後も阪神沿線で広げていきたい。シェアサイクルは関東を中心に大手コンビニエンスストアでも始めており、利便性は急速に高まるだろう」と話している。

登録などは<https://www.hellocycling.jp/>

新スキー場がオープン全国で14年ぶり

神河町にスキー場「峰山高原リゾート ホワイトピーク」が昨年12月にオープンした。峰山高原は星空の美しさで知られる観光スポット。春から秋にかけては賑わいを見せるが、冬は積雪のため観光客が大幅に減少。同高原にある町立ホテルは、冬季の赤字解消を課題としていた。そこで、雪を生かした事業を行おうと、スキー場をオープンさせた。シーズンあたりの目標来場者



3種類のコースがあり、スキーやスノーボード、スノースクートのほか、それでも一部のコースを滑走できる。

数は5万人。オープンからの一週間で約2,700人が訪れ、目標の約2倍のペースの来場者があった。スキー場の営業は3月15日ごろまで。

思いがけない妊娠の悩み 電話相談の窓口開設

NPO法人「このとりのゆりかご in 関西」(箕面市)は、望まない妊娠により悩みを抱えている人のために、匿名でも電話相談(通話有料)ができる「このとりのゆりかご(赤ちゃんポスト)」を全国で初めて開設した慈恵病院(熊本市)の理念に賛同し、関西にも同様のポスト設置を目指している。それに先駆けて電話相談を2月中頃に始める見通し。研修を受けた助産師や看護師、社会福祉士などの対人援助経験者が対応に当たる。開始当初は通常相談(平日10時~16時、土曜日17時~21時)のみだが、24時間対応す



※写真はイメージです。

る、急な体調不良などの緊急相談も準備中とのこと。

また、神戸市北区のマナ助産院と連携して、匿名での対面相談が可能な「面談型このとりのゆりかご」の開設に向けた準備を進めている。対面相談を受けた後は、匿名での診察も検討中である。

開設以降の電話相談の番号は、050-3033-0705。詳しくは、「このとりのゆりかご in 関西」HPで。

神戸市 震災記録をウェブ上に公開

神戸市は兵庫県立大学の協力のもと、地理情報システム(GIS)を活用した「震災伝承マップ」の作成を開始した。阪神・淡路大震災に被災した当時の映像や画像などのデータをGIS上にマッピングして公開するというもので、地図上の位置情報を示すポイントをクリックすると、その場所に関連する情報が表示される仕組みだ。

震災から23年が経ち、震災を経験していない若年層が増える中、その記録や記憶をどう継承していくかが課題となっていた。行政や市民団体それぞれが保有する関連記録を地図上にわかりやすく整理することで、後世の人が自ら学べる仕組みを構築していく狙いだ。1月12日には、同大学



「震災伝承マップ」の一部分。地図上のアイコンをクリックすると、震災当時の映像やエピソードなどが出てくる。

の学生らが震災経験者から話を聞き取り、サイトに登録するワークショップが開催された。今後は周辺の自治体や他の大学とも協力し、マップの整備を進めていくという。市の担当者は、「マップの作成を通して震災の記録や記憶を伝承するとともに、災害への備えやお互いに助け合う気持ちなど、防災の思いを伝えていきたい」と話す。一般向けの公開は3月を予定している。

神戸市 保育の人材不足解消に見学ツアー

神戸市の課題の一つが、保育園の待機児童数の増加。保育定員の拡大に伴い、必要となる保育人材を確保するため、今年度から、市内で保育士として就職する新卒者に対し一時金の支給を始めた。さらに、市は新たに、保育士や幼稚園教諭として働きたい人と現場をつなごうと、「幼稚園・保育園等見学バスツアー」を開催。現場に足を踏み入れ、園長らから保育方針などを聞くことができる



ツアーの様子。

機会を設けた。昨年11月から12月に行った第1回では、のべ43名の参加があり、参加者からは「求人がある施設をまとめて見学できた」と好評だった。来年度もバスツアーの開催を検討している。

サイバー防犯標語「あひるのおやコ」 ~2月1日から3月18日はサイバーセキュリティ月間~

協力:兵庫県警察

今や、大人に限らず子どもでも手軽に利用しているインターネット。

そのインターネット上で、安易な書き込みやアクセスによって子どもが犯罪やトラブルに巻き込まれるケースが増加している。

そこで、子どもたちを守るためにも、インターネットを使う時の注意点を親子で話し合い、我が家のルールを決めよう。合言葉は「あひるのおやコ」。

サイバー防犯標語「あひるのおやコ」

- 【あ】...会いに行かない
- 【ひ】...秘密にする
- 【ル】...ルールを守る
- 【の】...載せない
- 【お】...思いやり
- 【や】...やっておこう! フィルタリング
- 【コ】...コミュニケーションを大切に

ネットで知り合った人に会いに行かない
パスワードは家の鍵と同じ、秘密にしておこう
みんなで作ってみんなで守ろう! ネットのルール!
自分や友達の名前・住所・写真をネットに載せない
誰が見ても笑顔になれる「思いやりのある書き込み」を
フィルタリングはみんなを守る強い味方! 必ずやっておこう
家族や友達、身近な人と過ごす時間を大切にしよう

